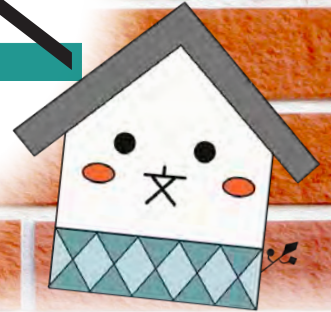


古文書がつなぐ

舞鶴・府大

2022 春



舞鶴での古文書調査

現在は、舞鶴市郷土資料館にて、木船家文書の整理・調査をおこなっています（2019年1月開始）。木船家は江戸時代後期に大庄屋を務めた家です。約1万点の文書が残っており、その調査も終盤に差し掛かっているところです。

調査では、古文書の写真撮影・番号ラベル貼り・目録作成が進められています。

京都府立大学では京都府内地域の振興や、産業・文化の発展などに取り組む住民や団体の活動に貢献することを目的とした、地域貢献型特別研究をおこなっています。（ACTR「海と森の京都の融合による文化観光拠点の形成－舞鶴市東舞鶴地区と綾部市上林地区の文化資源の発掘と活用－」）

舞鶴市においては、舞鶴地区・舞鶴地方史研究会と連携し、2013年から継続して調査をしています。



写真撮影



目録作成

調査は古文書1点1点を調べていきます。

目録作成では、内容だけでなく差出・宛名、年月日や形状などを記録し、研究や膨大な文書群を把握・管理することにも役立っていきます。また、写真撮影をすることで、現物文書を取り出すことなく、内容が確認できます。

